

# きずな

第55号

令和元年9月定例会

- 発行／合志市議会
  - 編集／議会広報調査特別委員会
  - 〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
  - TEL 096-248-2038
  - FAX 096-248-2047
  - E-mail: gikai@city.koshi.lg.jp
- 令和元年10月24日発行



## 伝統そして未来へつなぐメロディ

9月15日(日)合志市総合センター ヴィーブルにて、『第27回 西合志南中学校吹奏楽部定期演奏会』が開催されました。生徒たちが織り成す心のこもった素晴らしい演奏に集まった観衆は感動しました。当吹奏楽部は、市内行事等に積極的に参加し、演奏を通じて地域づくりに協力しています。本年度も、熊本県吹奏楽コンクールにおいて15年連続の金賞を受賞し、熊本県代表として9年ぶりに九州大会に出場し銀賞を受賞しました。今後の活躍を心から期待します。

### 平成30年度歳入歳出決算を認定しました

詳しくはP2、3をご覧ください。



一般会計歳入 240億3,125万7千円

一般会計歳出 227億922万2千円

### 令和元年度一般会計補正予算

第2号補正(8億6,773万8千円)を追加し、総額254億8,735万9千円とすることを可決しました。

9月定例会は、8月26日(月)から9月20日(金)までの26日間の会期で開催しました。

今回、条例の一部改正・令和元年度補正予算・平成30年度決算など、市長提出議案等22件、議員提出議案3件を審査しました。その他報告3件がありました。

議決結果は、市長提出議案等22件が原案どおり可決・認定等となりました。議員提出議案は3件可決となりました。

一般質問は、9人が市政に関する問題を質問し、今定例会には、延べ73人の方々が傍聴に訪れました。

#### 合志市議会 9月定例会の流れ

8月26日開会

市長より議案について提案理由の説明

8月27、28日

9人の議員による一般質問で市政を問う(7面参照)

9月2日

議案質疑及び委員会付託、予算決算常任委員会(質疑、分担付託)

9月3～5日

総務、文教経済、健康福祉の3常任委員会・分科会で議案の審査

9月11日、18日

予算決算常任委員会各分科会長報告後、執行部へ総括質疑を行ない議案を審査

9月20日

各委員会から審査結果報告後、討論・採決(結果は8面の賛否表参照)



インターネットで議会の様子をぜひご覧下さい。

合志市議会

検索

# 平成30年度 歳入歳出決算を

**一般会計歳入決算額 240億3,125万7千円** (決算書より)

前年度比 6.6% 16億8423万7千円減少しています。

(主な要因) 国庫支出金 16.6% 8億4,621万5千円の減  
 県支出金 10.3% 2億8,005万8千円の減

**一般会計歳出決算額 227億922万2千円** (決算書より)

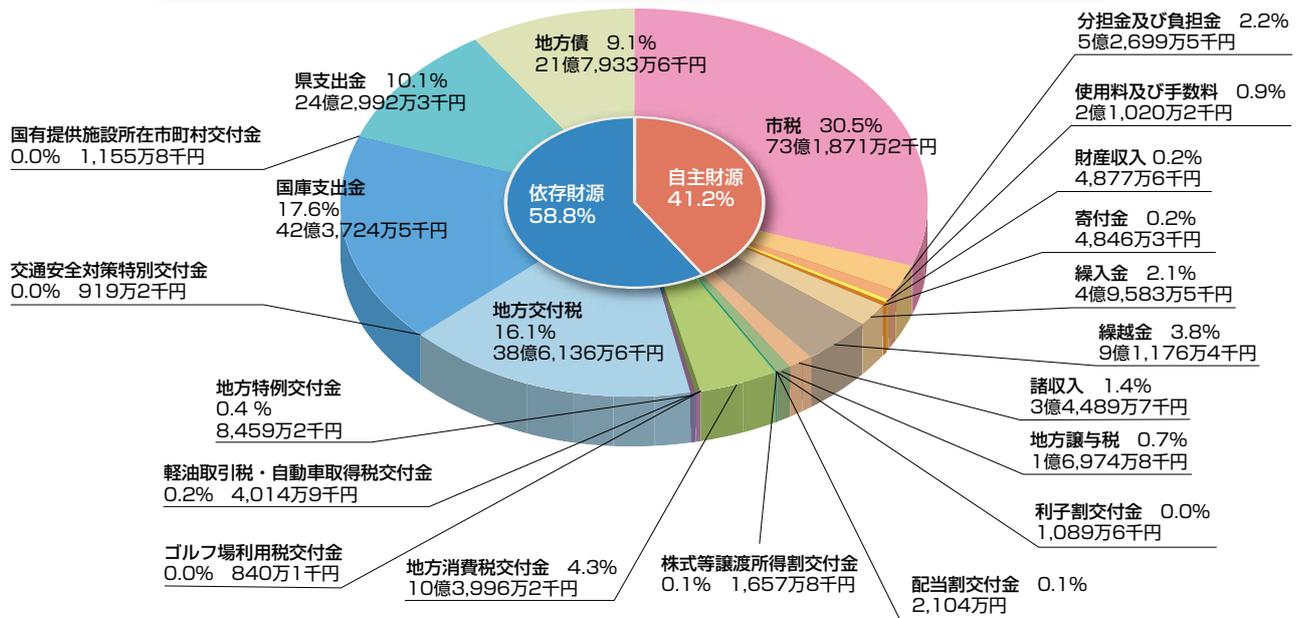
前年度比 8.4% 20億9450万9千円減少しています。

(主な要因) 衛生費 37.3% 8億1,800万1千円の減  
 災害復旧費 97.0% 10億9,117万円の減

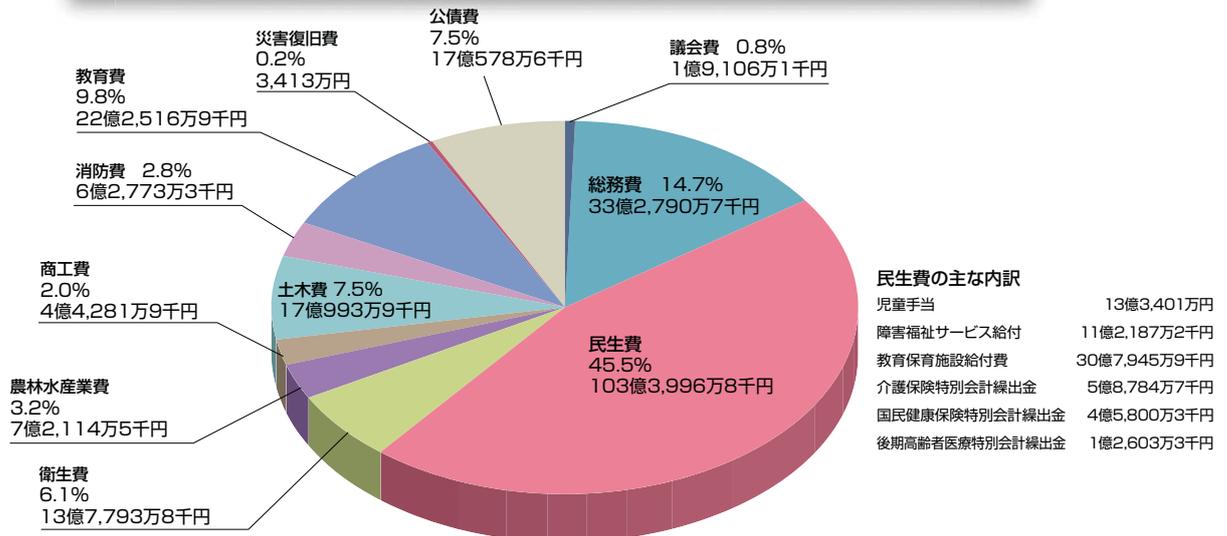
## 地方財政状況調査(決算統計)からみた決算の状況

地方財政状況調査は、後期高齢者医療広域連合にかかる経費(562万7千円)を、歳入歳出それぞれから控除していますので、上記決算額とは異なります。

### 一般会計歳入 240億2,563万円



### 一般会計歳出 227億359万5千円



# 認定しました

## 30年度特別会計・企業会計の歳入歳出決算

### 特別会計

	歳入決算額	対前年比	歳出決算額	対前年比
国民健康保険特別会計	65億1,988万8千円	14.2%減	64億4,270万1千円	11.4%減
後期高齢者医療特別会計	5億6,908万4千円	6.4%増	5億6,695万5千円	6.5%増
介護保険特別会計	44億2,932万4千円	3.7%増	42億6,530万5千円	3.1%増

### 公営企業会計

	収益的収入 資本的収入	対前年比 対前年比	収益的支出 資本的支出	対前年比 対前年比
下水道事業会計	13億772万2千円	1.7%増	14億6,655万7千円	0.7%増
	7億9,660万3千円	16.8%減	9億7,282万2千円	7.7%減
水道事業会計	8億5,557万5千円	3.0%減	5億8,959万5千円	0.4%増
	3億6,964万7千円	52.3%減	9億9,239万5千円	25.7%減
工業用水道事業会計	6,039万9千円	2.2%増	3,680万円	2.2%増
	65万円	増減なし	394万2千円	506.3%増

## 行政評価ってなに？

行政評価とは、行政の行なう仕事を評価し、その結果を次の計画や実施に反映することです。合志市では、28の施策と619の事務事業において、誰のために何のために活動するのかという「対象」と、対象をどのような状態にすべきなのかという「意図」を明確にして計画を立てています。合志市議会は、事業実施後に、行政活動が市民生活にどのような成果として現われているか、また、そのサービスの内容が効率性や有効性などの観点から妥当であるかどうかを客観的に評価し、行政活動の継続的な改善を求めています。

### 【市議会で指摘した事項の一部】

施策名	指摘事項
子育て支援の充実	フードバンク活動の推進など子どもの貧困問題解決の取り組みを図ること
健康づくりの推進	健康づくりの啓発に努めること（ラジオ体操・市独自の健康体操の普及推進やお薬手帳の活用等）
義務教育の充実	不登校及びいじめ等への対策を図ること（市内外の民間スクールでの活動を公的に認め評価に加える等）
防災対策の推進	高齢者や障がい者への支援体制を整備し、支援制度の周知に取り組むこと 避難所となる各防災センター及びコミュニティセンターの運営体制を整備すること（炊き出し等を含む） 備蓄用の飲料水は、ペットボトル活用から貯水タンクの活用へ変更を検討すること
計画的な道路の整備	住宅開発や工業団地の造成に先行して、長期的な道路計画を立てること

### 財産の取得について

御代志土地区画整理事業用地として九州財務局から菊池恵楓園の土地の一部5192.71㎡を購入

**8,225万2千円**

※啓発看板イメージ(1800\*3600程度)



### 令和元年度一般会計補正予算（第2号）

補正額 **8億6,773万8千円**  
補正後 **254億8,735万9千円**

#### 【主なもの】

歳入 民生費国庫負担金 **3億6,826万2千円**  
 ・子育てのための施設等利用給付金 **5,558万6千円**  
 ・子どものための教育・保育費負担金 **3億1,267万6千円**

10月1日から、3歳から5歳までの幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する子どもたちの利用料を無償化するために国が負担する予算です。

# 予算決算

## 〔審議日程〕

● 令和元年9月2日（月）  
予算決算常任委員会（全体会）質疑及び分科会（総務分科会、文教経済分科会、健康福祉分科会）を設置し付託事件の審査を行なうこととした。

● 令和元年9月3日（火）、4日（水）、5日（木）  
予算決算常任委員会（各分科会）3分科会による審査を行なった。

● 令和元年9月11日（水）  
予算決算常任委員会（全体会）分科会長報告に対する質疑及び総括質疑事項の選定を行なった。

● 令和元年9月18日（水）  
予算決算常任委員会（全体会）総括質疑・討論・採決



委員長  
副委員長

青木 照美  
来海 恵子  
議長を除く全議員

## 不法投棄対策について

**問** ①近年の実態や傾向およびそれに対する執行部の見解

②不法投棄に対する現状の対策と強化の必要性

**答** 合志市は山林脇や川沿いの道路も舗装されており、不法投棄されやすい所である。場所としては、蓬原工業団地北側、北部地域の畑や山林、上生川の中などに多く見られる。

平成28年度は地震に関連する廃棄物が特に多かった。近年は家電リサイクル法により、家電4品目を廃棄する際の費用が高額となったこと、テレビが薄型・軽量となり、テレビの廃棄物が増加した。個人の所有地に不法投棄されたごみについては、土地所有者が処分する事になっている。私有地への不法投棄については、パトロールを実施しているが、場所を早期に発見し、所有者の了解を得たうえで看板設置を行なっている。ごみの中に投棄者を特定できる手掛かりが有れば、警察や県の機関と連携する。

ごみステーションへ持ち込まれる違反ごみは、今後も人口増に伴い多くなると思われるので、対策の強化が必要である。市としては、今後とも環境美化推進員やごみ収集運搬業者から情報提供をしていただき減らす様に努力する。必要に応じ防犯カメラや条例の整備等検討していく。

## 農村集落竹林整備事業について

**問** ①事業目的の変遷及び予算措置の確認

②今後の事業の展望

**答** この事業については、農村集落の防災、防犯、景観の保全など地域環境の保全を求めるニーズが高まっている。昨年の総括質疑を受け、周知の仕方を工夫し、農事組合法人や関係団体へ、竹林整備事業に取り組んでいただくように努めた。

本年度は、「農事組合法人えら」では、地域の通学路、生活道路、農地などに倒れかかっている竹を土地の筆界にとらわれず整備し、さらには米ぬかを肥料として利用し、アクの少ない付加価値の高いタケノコ栽培を目指している。又「農事組合法人上生城」では、各所に点在する竹林を交換によって集約し現在までに50aの面積が集約できている。

森林環境譲与税の活用については、様々な観点から今後の用途を見だし検討する期間を設けたい。



「竹林」や「タケノコ」の活用については、官民が連携し、「こうし異業種参入研究会」や「クマモト未来型農産業コンソーシアム」などの企業と協議や研究を進めている。

## 人口増加に伴う学校施設環境の現状と今後の対応について

**問** ①人口増加に伴う学校施設環境の現状確認

②今後の展望について

**答** 「合志市総合計画における人口推計」では市の人口が令和12年までには約7万人となる。児童生徒数も増加する結果になり、学校施設の対応の検討も必要である。これまでの生徒数の増加への対応は、申請期限や教室不足の確定などの要因のために「プレハブ」による対応だった。結果的にその都度の対応と受け取られた面があった。しかしながら、現在多くの学校で敷地内での増築対応は難しい状況となっている。本市では特に児童生徒が増加していた合志南小、西合志東小、合志中及び西合志南中では、分離新設校の建設で教室不足は解消となる見込み。その他の学校で、特に人口が増加している市南部地区の学校については教室不足の懸念がある。人口推計調査結果が今年度ということもあり、具体的な計画は現時点ではない。しかし財政面で考えると、学校建設には国庫補助の活用が必要不可欠であるが、今回の人口推計はあくまでも数年先の推計値なので補助の有無は不明である。今後の対応策としては、「市財政計画」をはじめ「合志市公共施設等総合管理計画」等との整合性を確認していく。また合志市の人口増加の要因は主に空地開発によるもので、都市計画課や教育部局をはじめ、関係部局と連携した計画案策定が必要と考える。



## 法定事業の事務事業評価について

**問** ①法定事務事業に対する貢献度評価の必要性

②法定事務事業の貢献度評価の方法について

**答** 事務事業には国や県からの法定受託事務、あるいは自治事務と法定受託事務が混在しているものがある。法定受託事務を選別して別の評価を行なうとか、評価から外すと非常に複雑となる。現段階ではこれまでの評価方法を継続していく。

指摘があった法定受託事務については国や県からの受託事務であり、もともと国や県が行なうものなので、成果実績が横ばいになることが多い。法定受託事務が貢献度が低い位置になることの表記の仕方については、その事業が法定受託事務であることが分かるよう、事務事業名に何か記号か印を付けるなどの工夫を行ない改善に努める。

# 常任委員会・分科会(予算決算常任委員会)の審査概要

## 総務

委員長 副委員長  
委員 委員 委員

後藤 濱元 来海 青山 後藤  
祐一 幸 恵 隆 修  
監二 郎 子 幸 一

### 【委員会】 合志市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定

- 問** 現在の一般職非常勤職員にフルタイム勤務の人はいるのか。また、新制度での希望者もいないのか。
- 答** 現在の一般職非常勤職員は、常勤職員の勤務時間の4分の3以内で任用しているので、フルタイム勤務の職員は少ない。本人の希望によりフルタイムやパートタイムの選択ではなく、現在の勤務内容、条件によるスムーズな新制度への移行を考えている。

### 【分科会】 令和元年度合志市一般会計補正予算(第2号)

#### 財政課

- 問** ふるさと納税の運営委託先は何力所あるのか伺いたい。
- 答** ふるさと納税の委託先は、楽天とトラストバンクの2事業所である。

### 平成30年度合志市一般会計歳入歳出決算

#### 総務課

- 問** 消費生活センター運営事業において、平成30年度の相談件数410件の相談内容の傾向は
- 答** 高齢者が半数以上を占めており、振り込み詐欺や訪問

販売に関する相談が多い。

#### 交通防災課

- 問** ゾーン30についての効果と今後の取組みについてはどう考えているか。
- 答** 交通事故の大半は自宅から500m以内の生活道路で起きているため、ゾーン30規制を行なうと明らかに交通事故及び死亡事故の減少について効果がある。今後の取組みについては、永江団地区のゾーン30を他の行政区に見ていただき、ビッグデータの比較を基に交通問題に悩む行政区があれば、行政区、市、県警察とで協議を行ない対応していきたい。



#### 環境衛生課

- 問** 不法投棄対策事業において、不法投棄の処分量は昨年よりも増加している。どのような理由で投棄が増えているのか。
- 答** 家電リサイクル法ができ、処分する際に費用がかかるようになったことに加え、テレビが薄型になり、不法投棄されやすくなったため。

## 文教経済

委員長 副委員長  
委員 委員 委員

辻 齋藤 上吉 野西  
大 正 欣 健 正  
昭 也 司 一 隆 博

### 【委員会】 平成30年度合志市工業用水道事業会計利益の処分及び決算

#### 水道課

- 問** 現在の工業用水道のキャパシティ、契約水量などはどのくらいか。
- 答** 平成30年度末時点で給水の企業数は7件、配水能力は1日当たり2,300㎡、契約水量は1日当たり2,154㎡となっており、契約率は93.65%となっている。

### 【分科会】 令和元年度合志市一般会計補正予算(第2号)

#### 商工振興課

- 問** 公有財産購入予定の『テクノフロンティア熊本』については、購入後の払い下げ先は決まっているのか。
- 答** 興味を示されている



企業が数社あり、入札等の手続きにより入居者を決めていく予定である。

### 平成30年度合志市一般会計歳入歳出決算

#### 農政課

- 問** 昨年度の農用地区域の除外件数は何件か。また、農振計画の見直しは予定しているのか。
- 答** 池尻地区及び栄工業団地予定地等3カ所の農用地区域除外を行なった。また、農振計画は、都市計画マスタープランに併せ全体計画の見直しを行ないたい。

#### 学校教育課

- 問** 小中学校に導入された電子黒板等について、先生によって使い方に差が出ているのではないかと。
- 答** 毎年、夏休みに使い方の研修を行なっている。デジタル教科書を利用し、資料の拡大や提示が容易にでき、授業に対する理解は深まっている。学校を訪問して授業の様子を確認したが、先生方が非常に多くの場面で活用している。

## 健康福祉

委員長 副委員長  
委員 委員 委員

永坂 青澤 松  
清 本 木 田 井  
和 正 早 照 雄  
寛 洋 苗 美 二 津 子

### 【委員会】 合志市地域福祉基金条例の一部を改正する条例

- 問** 基金の利用用途について
- 答** 福祉施設の老朽化に伴う改修に活用する。

### 【分科会】 令和元年度合志市一般会計補正予算(第2号)

#### 健康づくり推進課

- 問** 少子化対策総合交付金事業とは
- 答** 結婚チャレンジ補助金・一般不妊治療費助成・早産予防対策・市町村創意工夫事業・市町村事務費がある。

#### 高齢者支援課

- 問** 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金についてこの交付金については、大阪地震に伴うものであり、ブロック塀が倒壊した事故を受け、倒壊の危険性のあるブロック塀の安全対策強化のため追加された。

### 平成30年度合志市一般会計歳入歳出決算

#### 福祉課

- 問** 自立支援給付事業の中で、フロアマネージャーの報酬の業務内容について
- 答** 福祉課において1名雇用しており、福祉課の窓口の受

付業務を行なっている。

#### 女性・子ども支援課

- 問** 女性・子ども支援課と学校との連携は図られているか。
- 答** 要保護児童対策地域協議会の一つとして学校と情報共有する連絡会を月一回実施し、学校との連携を図っている。

#### 保険年金課

- 問** 国保会計繰出金、後期高齢者医療負担金・繰出金はそれぞれ特別会計に繰り出しているか。
- 答** 国保については、事務費等法定内繰出と保険基盤安定負担金を国保特別会計に、後期高齢者医療については療養給付費等を熊本県後期高齢者医療広域連合負担金として、市後期高齢者医療特別会計は、事務費と保険基盤安定拠出金を一般会計から繰り出している。



現地調査の様子

## 条例制定及び改正

可決

- 合志市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例  
法改正に伴い、一般職の非常勤職員である「会計年度任用職員」に関する規定を新たに設けるとともに、フルタイム会計年度任用職員に対する期末手当等の支給が可能になった。
- 合志市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例  
法改正に伴い、一般職の非常勤職員である「会計年度任用職員」に関する規定を新たに設けるとともに、パートタイム会計年度任用職員に対する期末手当等の支給が可能になった。
- 合志市森林環境譲与税基金条例

合志市における森林整備及びその促進を図ることを目的に、国から交付される森林環境譲与税を財源とするため条例を制定するもの。

- 合志市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例  
国の女性活躍加速のための重点方針に基づき、住民基本台帳法施行令等の一部改正と、これに伴う印鑑登録証明書事務処理要領の一部が改正されたことに伴い、旧姓の印鑑が登録可能となった。
- 合志市地域福祉基金条例の一部を改正する条例  
基金の目的について、民間団体等が行う先導的事業の支援という限定的な内容になっていることから、設置目的、方針を改め、基金を地域福祉の増進に寄与する事業や福祉施設の維持、整備等に幅広く利用できる内容とするため。

## 議員提出議案

可決

### 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

東京・池袋で87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢者運転による事故が続いている。近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、75歳以上の高齢者運転の死亡事故の割合は高まっており、単純ミスによる事故が目立つ。警察庁は、昨年未時点ですべて563万人いる75歳以上の運転免許所有者が、2022年には100万人増えて663万人に膨らむと推計している。こうした現状を踏まえ、国は17年施行の改正道路交通法で、75歳以上の免許保持者は違反時や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けたが、いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。また、過疎地域を中心に、未だ「生活の足」として車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に免許を返納した場合などの地域における移動手段の確保も重要な取り組みである。政府におかれては、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止策としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

- 1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」(サポカーS)や後付けの「ペダル踏み間違い時加速制御装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。
- 2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキを備えた「安全運転サポート車」(サポカーS)に限定した免許の創設や、走行できる場所や時間帯など制限した条件付き運転免許の導入を検討すること。
- 3 免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド(予約)型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。また、地方公共団体が行う、免許返納時における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

提出者…松井美津子議員ほか12人

### 消費税簡易課税制度みなし仕入率について事業区分の追加を求める意見書

消費税が2019年10月から引き上げられる中、野菜などの生鮮食料品販売に係る消費税率は軽減税率の対象とされているところであります。消費税は全ての取引に課税されることから、農産物生産に必要な種子や肥料、農業などの生産資材の仕入れに係る消費税は10%であり、売りに関する消費税率と異なることとなります。現在の消費税簡易課税制度みなし仕入率については、農業の現状を反映していると言えますが、軽減税率が適用されますと、納税額において簡易課税の方が不利となり、原則課税の選択となると事務負担増加による生産性の低下は免れず、農業への影響は多大となります。また、野菜などの生鮮食料品の多くは、農業者が消費者と直接価格交渉を行っておらず、市場取引で価格が決まっており、生産資材が高騰したか

らと言ってその分を販売価格に反映することはできない状況にあります。2019年10月1日より、農業の消費税簡易課税みなし仕入率は、第三種事業から第二種事業へ変更される予定ですが、第二種事業だと農家は不利益を被ることとなることから、事業区分にみなし仕入率85%の農水事業を設けることが適当です。農家の生産意欲・TPPを初めとする農業を取り巻く環境の中から、主体的な取り組みを引き出す条件整備が不可欠であり、こうした観点から消費税軽減税率導入時において、下記事項が実現されるよう国に強く求めます。

- 1 消費税簡易課税制度の堅持
- 2 消費税軽減税率導入時に事務負担増加による生産性低下を招かぬよう、消費税簡易課税制度みなし仕入率85%の農水事業を事業区分に追加すること。

提出者…澤田雄二議員ほか12人

### 憲法審査会において本格的な議論を求める意見書

日本国憲法が昭和22年5月3日に施行され、今日に至るまでの約70年間、我が国をめぐる内外の諸情勢は大きく変化しています。国内においては、頻発する大規模災害等の緊急事態への対処、急激な人口減少に伴う地域間格差の是正や急速に進展する少子高齢化社会への対応、参議院議員選挙における合区の問題、高等教育の機会均等を旨とする教育無償化、環境問題、家族のあり方の根本を問う新たな課題等が生じています。国際社会では、東西冷戦構造が崩壊し、国際関係が多極化する中、頻発するテロや米中の貿易戦争など世界の安定化の道筋をいまだ見いだすに至っていません。我が国周辺においては、北朝鮮による弾道ミサイル発射実験、中国の東シナ海への海洋進出に対する懸念及び中ロの頻繁な領空領海侵犯など緊迫の度を増しています。いずれも、現行憲法が施行された当時には想定もされなかったものばかりです。このような状況変化を受け、国会において平成12年衆参両院に憲法調査会が設置され、平成19年には日本国憲法の改正手続きに関する法律が制定されました。衆参両院に憲法審査会を設置し憲法改正に向けた制度が整備されるに至ったところです。しかし、本来毎週開催される予定の憲法審査会は、憲法とは関係ない政治問題によっていまだ具体的な議論が交わされていない状態です。憲法改正に係る国民的な関心は、戦後最も高まっている状況にあり、様々な問題に有効に対応するために、現行憲法がどうあるべきなのか、そのためにはどのような態度で改正すべきなのか、慎重な議論とともに提示されることが望まれています。目の前に横たわる、そして未来に予想される諸問題から目を背けることなく、しっかりと議論をして、国がとるべき将来の選択肢を分かりやすく国民の前に示すことは、国が果たすべき最も重要な務めでもあります。よって、国会におかれては、新たな時代にふさわしい憲法のあり方について、各党の考え方の提示を求め自由闊達に議論する等、早急に憲法審査会において本格的な議論が行われることを強く要望いたします。

記

- 1 憲法改正案に対して国民が判断できる機会を早急に設けるため、両院の憲法審査会において、憲法改正案を早期に作成し、国民投票を実現すること。

提出者…吉永健司議員ほか11人

### パートナーシティ締結に関する提言書

合志市は、平成18年の市制施行から14年目を迎え、人口は6万2千人を超え県内では最も元気のあるまちとして認知されるようになりました。加えて、児童、生徒数の増加に対応するため恵楓園敷地の一部を購入し新設小・中学校建設にも着手、人権教育の中心として位置づけられることとなりました。そのような状況下で、議会会派九思会及び公明党では、市政の更なる発展、人権尊重のまちづくり、企業誘致、市民の幸福度の増大等に寄与する取り組みとしてパートナーシティ締結に向けた研究及び交流を行ってきました。その中で、下記項目を検証対象としてパートナーシティに最もふさわしい市(徳島県阿南市、岩下阿南市)を選定し週日訪問、意見交換を行いました。阿南市訪問時には、岩下阿南市長、阿南市選出県議1名、橋本市議会議長他2会派の議員、幹部職員等の歓迎を受け、終了まで全員同席の中で充実した会議を開くことが出来ました。会議では、阿南市の人権教育の柱として、同市出身でありハンセン病を患い隔離生活を余儀なくされながら、自分の体験に基づく作品等を遺した詩人、北条民雄氏や、日本の伝道師、青木恵哉氏を顕彰し、ハンセン病の正しい理解と、部落差別をはじめあらゆる差別や偏見の無いまちづくりに力を入れておられることに本市と共通であることを感じました。また、災害対策では、太平洋に面するまちであることから南海トラフ地震に対応すべきハード、ソフト面の説明も受け、危機感の高さを伺いましたが、震災未体験な不安を読み取ることができ、本市の経験役立てることが出来ることも感じました。その他、企業誘致や働く環境づくり、スポーツを通じたまちづくり等、合志市と共通する方針や課題を認識しました。

また、農林漁業が盛んであり、太平洋の豊かな魚種や川の魚、農業では、ミカンやスダチ等のかんきつ類が多く生産されており、本市とは、異なる部分もあり交流により、双方の農林漁業生産物の流通も期待できることを確信しました。

以上、雑駁ではありますが、視察、交流を踏まえた報告と、未だパートナーシティの無い合志市として最良の市として徳島県阿南市を推薦することと致しました。私たち、九思会並びに公明党の提言を尊重頂き、締結に向けた事務手続きが速やかに進められることを熱望致します。

九思会代表…吉永健司  
公明党代表…松井美津子



# 一般質問

一般質問の様子は、インターネットで録画をご覧ください。



永清 和寛議員

## 新設校(合志榎の森小・中学校)における通学路の安全確保について

- 問** 通学路の選定の現状はどのようになっているか。  
**答** 新設校開校準備委員会で議論していただき、主要な通学路は決定している。詳細の経路は、今後も必要に応じて協議する。  
**問** 危険箇所が多い新設校周辺の、交通安全施設の計画はどのようになっているか。  
**答** 令和元年5月28日付けで開校準備委員会会長から市長宛に交通

安全施設設置要望書の提出があり、これを受けて6月7日付けで熊本北合志警察署長宛に要望書を提出している。  
要望内容は、信号機設置2カ所・横断歩道設置5カ所・一時停止規制設置1カ所。

- その他** ・合志中学校のスクールバス導入について  
**質問事項** ・新設校開校前の人権教育計画について その他



来海 恵子議員

## 職員の適正人数=市民サービス

- 問** 7月末現在の、正規と非正規の職員数は。  
**答** 派遣等を含む正規職員が334人、一般職非常勤職員が274人、臨時職員が8人である。  
**問** 残業と長期欠勤が多い部署と人数は。  
**答** 年間200時間以上残業があったのは、税務課6人、福祉課3人、子育て支援課3人、秘書政策課1人、農政課2人、選挙管理委員会事務局2人。1カ月以上の長期病気休暇、休職の職員数は、11人

である。  
**問** 人口が1万人以上増え仕事の量も増えている。職員もある程度増やさないと市民サービスの低下につながるかと考える。今後の職員採用の計画は。  
**答** 現行職員定数条例の347人の範囲内で全体職員数を検討する。

- その他** ・教職員の勤務時間、休暇等に関して  
**質問事項** ・水道の休開業業務について その他



齋藤 正昭議員

## 市民後見人養成の取り組みは

- 問** 認知症の方などの身体・財産管理をする後見制度の利用者数は。  
**答** 令和元年7月末の制度利用者数は183人で、熊本市、芦北町に次ぐ利用件数である。  
**問** 今後認知症高齢者の増加が予想され、家族や弁護士・司法書士等専門職の後見人では対応できないとのことで、国も市民後見人の養成を後押ししているが本市の取り組みは。  
**答** 成年後見制度の周知として、6月から1回の行政書士無料相

談会を実施している。また、令和3年度末までに、成年後見制度利用促進基本計画の策定を目指している。その中で、利用ニーズや受け皿等現状を把握し、市民後見人養成支援の取り組みを盛り込んでいきたい。

- その他** ・行政評価システムについて  
**質問事項**



上田 欣也議員

## 図書館の活用で職員の能力向上を

- 問** 図書館マンガミュージアムの指定管理者の募集はどうなっているか。  
**答** 説明会には4事業者の出席があった。募集期間は9月13日までである。  
**問** 選定の基準は。  
**答** 今回は初めての公募であり、条例に基づく基準と共に、事業者からの提案にも期待する。

**問** 市職員はまちづくりの課題を解決する能力の向上に努めることが、行政改革の推進に書かれている。課題解決に図書館を活用してはどうか。  
**答** 情報収集の幅が広がることで課題解決に寄与すると考える。  
**問** 指定管理団体所属の館長と図書館協議会の関係に問題はないか。  
**答** 問題はない。協議会との関わりは新たに検討を始めたところだ。

- その他** ・消費増税により、合志市の財政にどのような影響があるか  
**質問事項**



松井美津子議員

## 人権問題について

- 問** 合志市人権教育研究大会について、市民の声を伺う。  
**答** 「いじめや差別の心は自分の心の中にあるという言葉に、自分を見つめ直す時間を大切にしたいと思った。」「人は言葉を浴びて育つという言葉が心に残った。無知や無関心が一番怖いです。」「頭では理解しても声をあげて行動できないのは心の痛みを真剣に受け止めていないからと思う。」という内容であった。

**問** 全職員が一人ひとりを大切に人権教育に取り組んでいただきたい。阿南市の人権尊重のまちづくり条例の制定について本市の考えを伺う。  
**答** 審議会に、社会情勢の変化を踏まえた部落差別等をなくし人権を守る条例を諮問をしている。

- その他** ・読書のバリアフリー法成立後の取組について  
**質問事項** ・市の発信強化について (クール合志市)



青山 隆幸議員

## 堀川は氾濫するの?

- 問** 先般、県から坪井川水系堀川の洪水浸水想定が示された。これまでは地震と台風被害に注視していたが、堀川が氾濫する可能性があるということか。  
**答** 県の想定では1時間70mm前後の雨が9時間降り続き坪井川もあふれている状態では、杉並台区から堀川区の方にかけて堀川沿いも越水する。平成24年の熊本県北部豪雨並みの降雨量、規模であれ

ば堀川も例外ではない。各行政区の区長にも説明し、現在作成が進められている地区防災計画にも反映するように職員に周知している。市や県のホームページでも公表している。  
<https://www.city.koshi.lg.jp/bousai/kijij00318921/index.html>

- その他** ・各行政区の地区防災計画の進捗について  
**質問事項** ・通電火災・感震ブレーカーの市民への周知を



犬童 正洋議員

## 学校内外における子どもたちの安全確保について

- 問** 学校内への不法侵入者対処マニュアル作成と刺股の設置本数及び訓練頻度は。  
**答** マニュアルは全校作成している。刺股は全体で45本、各学校2本以上の設置をし、年1回訓練を行なっている。  
**問** 授業中の正門等の施錠状態は。  
**答** 授業中、門扉自体は閉めているが給食搬入や来校者出入りのため施錠までは行なっていない。

**問** 市保有の青パト車は何台か。  
**答** 庁舎に白黒車1台と青色回転灯を装着できる5台である。  
**問** 下校時の見守り強化のため増車をし、抑止力を高めるべきと思うか。  
**答** 毎月3日間、7時から15時から巡回している。

- その他** ・セーフティパトロール年間事業について  
**質問事項** ・登下校時の安全確保(南ヶ丘小学校区)について



濱元幸一郎議員

## 子ども医療費は県内どこでも窓口無料に

- 問** 市外医療機関でも子どもの医療費が窓口無料化となるように、繰り返し制度改革を求めてきたが、庁内の検討状況は。  
**答** 県内の実施状況や社会保険診療報酬支払基金、国民健康保険団体連合会への委託料の試算など、様々な角度から研究を行なっている。  
**問** 子ども医療費無料化は経済的支援にとどまらず、早期発見早期

治療により、重症化を防ぐ重要な役割を果たす。県内窓口無料化は菊池市、大津町、菊陽町ではすでに実施している。合志市でも県内どこでも窓口無料化へと、早急に制度改革をすべきだ。

**答** 予算もあるので慎重に、一步一步進めていきたい。いま十分検討している。報告できるよう努力しているのでお待ちいただきたい。

- その他** ・市営住宅の今後の方針について  
**質問事項** ・子どもの遊び場の整備について



坂本 早苗議員

## 学校給食調理員が足りない!

- 問** 6月議会の質疑で学校給食調理員が足りないため、3小学校で米飯を外部委託していることが判明した。4月初13名の調理員不足が報告されたが、現状は。  
**答** 今年度から賃金値上げを行ない7名の補充ができています。  
**問** 調理員不足で安全安心な給食が提供できるのか。  
**答** マンパワー不足については真剣に向き合わざるを得ない。

**問** 学校の保護者に現状を知らせ、協力を求めているかどうか。夏休み等の長期休暇に子どもと一緒に休める仕事を求めている人もいる。採用方法の工夫が必要ではないか。  
**答** 勤務時間のパターンを増やすことは再度検討したい。

- その他** ・合志庁舎の手話通訳設置事業開始について  
**質問事項** ・学校の先生が足りない現状について

# 賛否一覧表

※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可=可決 認=認定 可認=可決及び認定  
 ※ 採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり ○=賛成 ●=反対 △=退席 長=議長 (議長は、議決には加わりません。可否同数となったときは裁決権を行使します。)

## 令和元年第2回定例会審議結果 (8月26日～9月20日)

議案等の名称	議決結果	議員名																			賛成	反対		
		1 永清 和寛	2 辻 藍	3 辻 大二郎	4 後藤 祐一	5 犬童 正洋	6 澤田 雄二	7 野口 正一	8 齋藤 正昭	9 青山 隆幸	10 西尾 隆博	11 後藤 修一	12 濱元 幸一郎	13 上田 欣也	14 坂本 早苗	15 吉永 健司	16 来海 恵子	17 松井 美津子	18 青木 照美	19 坂本 武人				
市長提出議案	議50 合志市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	1	
	議51 合志市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	1	
	議52 合志市森林環境譲与税基金条例	可	全会一致																			長	18	0
	議53 合志市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																			長	18	0
	議54 合志市地域福祉基金条例の一部を改正する条例	可	全会一致																			長	18	0
	議55 令和元年度合志市一般会計補正予算(第2号)	可	全会一致																			長	18	0
	議56 令和元年度合志市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	全会一致																			長	18	0
	議57 令和元年度合志市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可	全会一致																			長	18	0
	議58 令和元年度合志市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	全会一致																			長	18	0
	議59 令和元年度合志市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	可	全会一致																			長	18	0
	議60 令和元年度合志市水道事業会計補正予算(第2号)	可	全会一致																			長	18	0
	議61 令和元年度合志市工業用水道事業会計補正予算(第2号)	可	全会一致																			長	18	0
議62 令和元年度合志市下水道事業会計補正予算(第2号)	可	全会一致																			長	18	0	
認定	認1 平成30年度合志市一般会計歳入歳出決算	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	1	
	認2 平成30年度合志市介護保険特別会計歳入歳出決算	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	1	
	認3 平成30年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	1	
	認4 平成30年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	1	
	認5 平成30年度合志市水道事業会計利益の処分及び決算	可認	全会一致																			長	18	0
	認6 平成30年度合志市工業用水道事業会計利益の処分及び決算	可認	全会一致																			長	18	0
	認7 平成30年度合志市下水道事業会計決算	認	全会一致																			長	18	0
その他	議49 財産の取得	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	17	0	
	議63 財産の無償譲渡	可	全会一致																			長	18	0
報告	報7 専決処分(損害賠償に係る額の決定)の報告	報告終了																						
	報8 専決処分(損害賠償に係る額の決定)の報告	報告終了																						
	報9 平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報告終了																						
議員提出議案	議提3 「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書」の提出	可	全会一致																			長	18	0
	議提4 「消費税簡易課税制度みなし仕入率について事業区分の追加を求める意見書」の提出	可	全会一致																			長	18	0
	議提5 「憲法審査会において本格的な議論を求める意見書」の提出	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	13	5	

### 令和元年第3回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
11	25	月	本会議	市長提出議案上程及び説明
	26	火	本会議	一般質問
	27	水		
	28	木		
12	2	月	本会議	質疑、委員会付託
	3	火	予算決算常任委員会	質疑、各分科会分担付託等
	4	水	常任委員会・分科会	付託事件の審査
	9	月	予算決算常任委員会	分科会長報告、自由討議
	13	金		総括質疑、討論、採決
17	火	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決) 議員提出議案(上程、質疑、討論、表決)	

### 議会広報調査特別委員会

委員長 上田 欣也 副委員長 青山 隆幸  
 委員 澤田 雄二 委員 辻 大二郎  
 委員 辻 藍 委員 永清 和寛

### 編集後記

9月議会が終了しました。この議会は決算議会とも呼ばれており、前年度の一般会計歳出約227億円をはじめ、国民健康保険など特別会計、下水道事業などの企業会計の決算5会計を19人の議員で審査していく訳です。私達議員の一番重要な仕事は、予算がきちんと使われているか監視することです。ですから9月議会は胃がギリギリと痛む眠れない夜が続きます。

しかし私達の仕事は議会開会中ばかりではありません。議会閉会中も議員としての仕事ができます。四方八方にアンテナを張り巡らせて、何が合志市のためになるのか取捨選択して勉強するのもこの時期です。

さて、市は令和12年には合志市の人口が7万人を超えると発表しました。今より8千人増加する計算になります。日本全国で人口減少が問題となる中で、ありがたいことに、本市を終の棲家として選択して、移り住んでこられる若い世代の流入が増えています。しかし人口増にともない他地域にはない子育て・教育に関して、様々なうれしい課題も発生しています。

本市に引越して来られた新市民の皆さんに、合志市に住んで良かった。この地で子育てして良かったと言われるよう、私達市議会も行政と緊密な関係を保ちつつ、タッグを組んで、市民の皆様の幸福度UPに向けて、車の両輪として走り続けてまいります。(青山隆幸)

ホームページアドレス

<https://www.city.koshi.lg.jp/gikai/default.html>